

- 問1 首都圏に位置するある県は、製造品出荷額が約12兆円と高く、農業産出額も1300億円を超える規模ですが、昼夜間人口比率が88.3%と100%を大きく下回っています。この数値が100%を大きく下回る理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 県外へ通勤・通学する人が、他県から通勤・通学してくる人よりも多いため
2. 大規模な工業地域が県内にあり、夜間勤務の労働者が他県から流入するため
3. 県内の製造業や農業に従事する労働者が、定年退職により急減したため
4. 他県から通勤・通学してくる人が、県外へ通勤・通学する人よりも多いため
- 問2 長野県、福島県、新潟県、群馬県の4県について、県名と県庁所在地の名称の関係をまとめた資料があります。この4県のうち、県名と県庁所在地の名称が異なっている県が一つだけあります。その県庁所在地の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 長野市
2. 福島市
3. 前橋市
4. 新潟市
- 問3 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 群馬県
2. 福島県
3. 滋賀県
4. 栃木県
- 問4 日本の都道府県の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり1,000人を超え、人口が増加傾向にある県があります。この県は、大規模な工業地域を背景とした高い製造品出荷額を誇ると同時に、全国でも上位の野菜産出額を記録しているのが特徴です。この県はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 神奈川県
2. 秋田県
3. 千葉県
4. 宮城県
- 問5 関東地方の農業について述べた文として、近郊農業の背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、他の産地が品薄になる夏に高原野菜を出荷する仕組み。
2. ビニールハウスなどを利用して成長を早め、他の産地よりも出荷時期を早めることで高い収益を得る仕組み。
3. 一年のうちに同じ土地で、米と麦のように異なる二種類の作物を栽培する仕組み。
4. 大消費地までの距離の近さを生かし、鮮度が求められる野菜などの輸送コストを抑えて供給する仕組み。
- 問6 ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食料品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと
2. 冷涼な気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整っていたこと
3. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと
4. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと
- 問7 茨城県は野菜の農業産出額が1,700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県です。東京都などの大消費地に近いという地理的条件を最大限に生かし、新鮮な野菜などを栽培して出荷する農業の形態を何とといいますか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 近郊農業
2. 企業的農業
3. 促成栽培
4. 抑制栽培
- 問8 千葉県における2015年の統計では、夜間人口（常住人口）が約622万人であるのに対し、昼間人口は約558万人となっています。このように、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す指標を「昼間人口比率」と呼びますが、このデータに基づいた場合、千葉県の値はどの区分に該当しますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 95以上100未満
2. 110以上
3. 90未満
4. 100以上105未満
- 問9 ある県の産業統計において、米の産出額が約156億円、果実の産出額が約83億円であるのに対し、野菜の産出額が約912億円と非常に高く、さらに製造品出荷額等が約9兆522億円に達している県はどこですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 静岡県
2. 青森県
3. 石川県
4. 茨城県
- 問10 1960年代から70年代にかけて、東京の多摩や大阪の千里、泉北などでは、大規模な計画住宅地の造成が進められました。このような開発が行われた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 輸出産業の拠点とするため、沿岸部の埋め立て地に大規模な工場を集積させた。
2. 都心の老朽化した建物を集約し、高層マンションやオフィスビルに建て替えた。
3. 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。
4. 地方の過疎化を防ぐため、農村部に新たな公共施設や商業施設を整備した。
- 問11 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 促成栽培
2. 近郊農業
3. 抑制栽培
4. 二毛作
- 問12 関東地方の各県の工業的特徴を比較した際、製造品出荷額等の合計が約18兆円と非常に大きく、かつ産業内訳において「化学工業」や「鉄鋼業」の占める割合が他県に比べて高い特徴を持つ県はどこですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 千葉県
2. 群馬県
3. 神奈川県
4. 埼玉県
- 問13 東京湾の西岸から北岸の臨海部に位置し、東京都から神奈川県の横浜市、川崎市などを中心に広がる工業地帯の名称はどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 京葉工業地域
2. 北関東工業地域
3. 中京工業地帯
4. 京浜工業地帯
- 問14 東京都渋谷区の統計によると、夜間にその区域に住んでいる居住人口は約22.4万人ですが、昼間の時間帯には周辺地域からの通勤・通学者が流入し、人口が約53.9万人にまで増加します。このような都市中心部で見られる人口の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。
2. 郊外へのオフィス移転が進んだ結果、通勤・通学者が減少し、昼間人口が減少傾向にある。
3. 都心での生活コストが高いため、昼間人口よりも夜間人口のほうが多い状態になっている。
4. 交通網の発達により、昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。